



第106号 令和8年3月
発行：河内教育事務所
ふれあい学習課
後援：宇河地区生涯学習研究会

ふれあいKAWACHIネット

生涯学習イメージキャラクター

「マナビィ」

ふれあいの学習館



社会教育主事リレートーク

教えてあなたの学校の
「ヒト」「モノ」「コト」

宇都宮市立豊郷中学校
富田 好(とみた このみ)



宇都宮市では、郷土愛を育む「宇都宮学」を全小中学校で展開しています。豊郷中学校では地域の「ヒト・モノ・コト」との探究活動を大切に、生徒の「実際に見たい」「直に聞きたい」という好奇心を後押ししています。

1年生は自ら希望し、学校近くの長岡百穴などで現地調査を実施。地域の方の協力で疑問を解決し、発見に目を輝かせ学びを深めました。2年生も地域の魅力への取材を自ら希望。生徒たちが「ぜひお話ししたい」と願った大谷石産業株式会社様には、生徒が考案した「新土産」についてのプレゼン大会に御出席いただきました。その道のプロの方々「作ってみたい」と認められた経験は、大きな自信と誇りになりました。この絆を宝物に、地域の一員としての自覚を育む学びを今後も広がっていきます。

「推し」 ① 広報紙活用とポップ制作による読書活動推進

小・中学生の読書活動推進を目的として、管内小・中学生から「おすすめする本のポップ」を募集し、広報紙『ポップ☆ステップ☆ジャンプ!』にて紹介しています。今年度は234作品の応募がありました。応募した学校からは「ポップが掲載された広報紙を読んで、読書への意欲が高まった」「ポップを制作するため、本を読み込んだことで本の内容理解が深まった」といった感想が寄せられるなど好評です。



② 「熟議」を行うふれあい学習出前講座

宇都宮市立緑が丘小学校魅力ある学校づくり地域協議会で、「熟議」を行う出前講座を実施しました。

テーマ：「学校と地域・保護者が子どもたちの未来について語り合う」
方法：5～6人ごとの小グループでの付箋紙ワークを活用した話し合い
教育事務所職員によるファシリテーション

「熟議」を体験した参加者は、互いの思いを理解し信頼関係を深めるとともに、学校の教育活動に主体的に関わろうとする意識を高めました。

地域とともにある学校の実現につながる効果的な協議会の運営に向け、「熟議」を行う出前講座の活用を御検討ください。 ※「熟議」：「熟慮」と「議論」

河内地区ふれあい学習推進会議

テーマ：家庭教育の推進 ①6/17(火)②8/25(月)③10/10(金)④1/14(水)

河内管内における家庭教育支援の課題を把握し、県が推進するアウトリーチ型支援※の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携した子育てを進めるため、令和6年度より本テーマでふれあい学習推進会議を実施してきました。

会議には、行政職員、教育機関関係者、地域で家庭教育支援や子育て支援に携わる実践者など、さまざまな立場の委員が参加し、分野や立場を越えて意見を交わすことができました。宇都宮市・上三川町それぞれの家庭教育支援に関する現状や課題を共有するとともに、学校現場の現状について、スクールサポーターからの説明を聞くことで、乳幼児期から学童期までを見通した切れ目のない支援の在り方について考える機会となりました。

また、協議を通して、自分の立場でできる支援を具体的に考えるきっかけとなり、それらに実際に取り組むことで、これまで十分に届いていなかった支援を必要とする家庭に届けることができました。子どもや保護者に寄り添うことの大切さを改めて確認し、今後の家庭教育支援・子育て支援への意欲を高める、実りある会議となりました。

委員の方々は、「自分の立場でできる具体的な手立てを考えることができました。」「立場を越えたつながりが自身の業務や活動に活かされた。」と会議を振り返りました。御協力ありがとうございました。

※アウトリーチ型支援：個別の支援が必要な家庭に寄り添った支援 支援がなかなか届きにくい家庭への訪問という取組に加えて、家庭(子どもと保護者)に寄り添い届けるという視点に立った家庭教育支援の取組のこと(例：就学時健康診断等の機会を利用し、家庭教育に関する学びの機会等を提供するなど、働き掛ける支援)

グループ協議の様子



スクールサポーターからの説明



本情報紙に関して詳細を知りたい方は、お気軽に下記までお問い合わせください♪

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL028-626-3183 E-mail: kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp